

多文化社会専門職機構 2021年度事業報告書

I. 全体運営

2021年度は機構設立4年度目（任意団体設立時から5年度目）にあたり、下記のとおりに中期目標を設定し、事業・プログラムを実施した。

○ 中期目標（2021～2023年度）

- ・ 組織基盤の強化（新規会員の獲得、事務局の充実、財源の安定）
- ・ 多様なプログラム展開（さまざまなニーズに対応した研修・ネットワーキングプログラムの提供）
- ・ 認定者・会員の参加によるプログラム展開とそれによる社会的認知度の向上

II. 事業

1. 認定事業

多文化社会の問題解決を通じて「多文化共生」社会の実現に貢献する専門職として、多文化社会コーディネーター、相談通訳者の認定事業を行った。

1) 多文化社会コーディネータープログラム

2019年度につづき第3回認定試験を実施し、下記の2名を多文化社会コーディネーターとして認定した。

担 当 理 事 : 山西 優二

コーディネーター: 菊池 哲佳

応 募 者 数 : 6名

認 定 者 : 中野 玲子

すみだ日本語教育支援の会 理事

日本語みらいラボ（深川） 代表

新居 みどり

NPO 法人国際活動市民中心（CINGA） コーディネーター

実 施 日 程 : 募集期間 2021年11月4日
～12月12日

一次試験（書類審査） 2021年12月19日

二次試験（プレゼンテーション、面接） 2022年1月16日

※ オンラインで実施予定

2) 相談通訳者認定プログラム

2020年度につづき、第4回認定試験を実施した。新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、二次試験（筆記、実技・面接）の日程を2022年3月12日-13日から5月15日に変更した。

担 当 理 事 : 阿部 裕

コーディネーター : 新居 みどり

対 象 言 語 : 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、ロシア語、タイ語、インドネシア語、クメール語、ミャンマー語、フランス語、ベンガル語

応 募 者 数 : 19名

一 次 合 格 者 数 : 18名

実 施 日 程 :	募集期間	2021年11月22 ～2022年1月11日
	一次試験結果通知	2022年2月上旬
	二次試験（筆記、実技・面接）	2022年5月15日

2. 実践研究事業

1) 地域日本語教育コーディネーター研修【文化庁委託事業】

自治体施策・国際交流協会事業・市民活動等の現場で、地域日本語教育コーディネーターとして地域日本語教室を運営することができる人材を育成することを目的として実施した。

担 当 理 事 : 伊東 祐郎

コーディネーター : 菊池 哲佳・新居 みどり

実 施 コ ー ス : ① 地域日本語教育コーディネーターコース
② 地域日本語教育コーディネーター講師育成コース
③ 地域日本語教育コーディネーターフォローアップコース

修 了 者 数 : ① 37名（東日本地域23名、西日本地域14名）
② 10名
③ 62名

実 施 日 程 :	夏期研修Ⅰ（各コース共通）	2021年8月18日-8月31日
	夏期研修Ⅱ（①東日本地域）	2021年9月1日
	夏期研修Ⅱ（①西日本地域）	2021年9月3日
	夏期研修Ⅱ（②）	2021年9月12日
	秋期研修（①東日本地域）	2021年11月18日
	秋期研修（①西日本地域）	2021年11月19日

秋期研修 (②)	2021 年 11 月 29 日
冬期研修 ((①東日本地域))	2022 年 2 月 17 日
冬期研修 (①西日本地域)	2022 年 2 月 18 日
冬期研修 (②)	2022 年 2 月 28 日

3. 社会発信事業

1) 第5回多文化社会実践研究フォーラム

2018 年から 3 年にわたり、「多文化社会における市民活動と専門職」を中期的テーマに据え、「多文化社会を問う」「多文化社会における市民活動を問う」「多文化社会における専門職を問う」と毎年テーマを設定し、議論を深めた。その最終年となる 2021 年度は「多文化社会における専門職を問う」をテーマとして実施した。

担 当 理 事 : 奈良雅美

コーディネーター : 理事及び運営委員

テ ー マ : 「多文化社会における専門職を問う」

実 施 日 時 : 2021 年 12 月 4 日 13:00~16:30

実 施 方 法 : オンライン (オンラインビデオ会議システム ZOOM)

参 加 者 数 : 80 名

プ ロ グ ラ ム : 総合司会 :

長尾 晴香 (運営委員)

1 パネルトーク 「多文化社会と専門職としての私」

パネリスト :

勝部 麗子 (豊中市社会福祉協議会 コミュニティソーシャル
ワーカー)

山岸 素子 (移住者と連帯する全国ネットワーク 事務局長)

関 聡介 (弁護士、監事)

山西 優二 (早稲田大学教授、理事)

司会

奈良 雅美 (理事)

2 ワールドカフェ 「私の実践から見る多文化社会」

ファシリテーター :

松尾 慎 (運営委員、東京女子大学教員、VEC 代表理事)

3 ふりかえり

司会 :

奈良 雅美 (理事)

2) ウェブサイト運営

ウェブサイトで当機構や当機構が認定する専門職、当機構が実施する事業を紹介し、それらの社会的認知の向上を図るとともに、本機構の取り組みに参加・協力する人々のすそ野の拡大を図った。また、会員によるコラムを掲載し、多文化社会の課題等について発信した。

担 当 理 事 : 青山 亨

コーディネーター : 高柳 香代

W E B コ ラ ム : 〈12〉多文化共生って、なんなの？(大久保 和夫)
〈13〉これからの地域日本語教室の話をしよう(土井 佳彦)
〈14〉想いをつなぎ、活動をデザインするー多文化社会コーディネーターとしての10年間の実践からー(長尾 晴香)
〈15〉難民的背景をもつ人々とともに学ぶ“Something”(松尾 慎)
〈16〉外国人による外国人支援ー多文化共生マネージャーとしてー(山浦 育子)
〈17〉外国籍住民としてみてきた国際交流と多文化共生(ベティナ・ギルデンハルト)

3) 広報資料の作成

リーフレットを作成し、ウェブサイトに掲載する予定であったが、実施しなかった。

4. その他本機構の目的を達成するために必要な事業

1) ジャーナル発行に関する検討会

担 当 理 事 : 野山 広

コーディネーター : 松尾 慎

実 施 計 画 : 下記①～④のうち③または④については今後も引き続き検討することとする。

- ① 商業出版として発行
- ② 商業出版社に委託して発行
- ③ ウェブサイトに随時(または定期的に)掲載
- ④ 電子ジャーナルを発行 「名古屋多文化共生研究会」を参考に、③を検討する。

[\(https://sites.google.com/site/nagoyaams/\)](https://sites.google.com/site/nagoyaams/)

2) 「対話の場づくり」プログラム

会員同士のネットワークづくりと学びの場として、会員向け「TaSSK 多文化オンラインcaf

エ」を下記のとおりを実施した。

担 当 理 事 : 菊池 哲佳

コーディネーター : 松岡 真理恵

多文化カフェ概要 : 実施日 : 毎月最終日曜日 9 : 30 ~ 10 : 30

形 式 : オンライン

対 象 : 会員及び会員の紹介者 (紹介は1 会員につき 3 名程度
まで)

内 容 : 会員や会員が誘ったゲストにより、話題提供をしてもら
い、それについて議論する。参加者の議論の場・学びの
場とする。

参加費 : 無料

多文化カフェ実績 : 2021 年 7 月 25 日

テーマ : コロナに関する情報提供のあり方について

話題提供者 : 松岡 真理恵 (運営委員・浜松国際交流協会事務
局次長)

参加者 : 7 名

2021 年 8 月 29 日

テーマ : 今、気になる『技能実習生の妊娠・出産』について

話題提供者 : 高柳 香代 (運営委員・移住労働者と共に生きる
ネットワーク・九州共同代表)

参加者 : 9 名

2021 年 9 月 26 日

テーマ : 若者と多文化共生～若い世代が多文化共生に関心を
持つには、地域にどんな受け皿があるか～

話題提供者 : 斉藤 雄大 (会員・ESUNE 理事・事務局長)

参加者 : 11 名

2021 年 10 月 31 日

テーマ : どうする? 地域日本語教育の評価

話題提供 : 萬浪 絵理 (運営委員・CINGA 地域日本語教育コー
ディネーター)

参加者 : 26 名

2022 年 1 月 30 日

テーマ : 今、問いなおす「国際交流協会の役割」

話題提供者 : 栗木 梨衣 (監事・名古屋外国語大学大学院・多

文化共生リソースセンター理事・元国際交流協会職員)

参加者：14名

2022年2月27日

テーマ：ジェンダーと多文化共生社会

話題提供者：奈良 雅美（理事・アジア女性自立プロジェクト
代表理事）

参加者：8名

3) 講師派遣プログラム

多文化社会の問題解決に携わる人々の資質や専門性の向上、および多文化共生推進に寄与するために、研修やイベントでの講師を派遣した。

担 当 理 事 ： 菊池 哲佳

コーディネーター：高柳 香代

派 遣 実 績 ： ① 2021年7月16日（金）

目 的：令和3年国際交流・協力ネットワーク会議

依頼者：（公財）茨城県国際交流協会

派遣者：菊池 哲佳

② 2021年10月26日（火）

目 的：宮崎県企業向け人権セミナー

依頼者：宮崎県雇用政策課/リクルートパートナーズ

派遣者：高柳 香代

③ 2021年11月2日（火）

目 的：相談通訳員向け内部研修

依頼者：（公財）新潟県国際交流協会

派遣者：山浦 育子

④ 2021年11月9日（火）

目 的：宮崎県地域日本語教育体制整備事業

地域日本語教育コーディネーター研修第3回

依頼者：（公財）宮崎県国際交流協会

派遣者：菊池 哲佳

⑤ 2021年12月5日（日）

目 的：災害時外国人サポーター養成講座

依頼者：（公財）新潟県国際交流協会

派遣者：菊池 哲佳

⑥ 2022 年 2 月 20 日（日）

目 的：ことばと文化のサポーター登録者研修会 第 2 弾

依頼者：（一財）静岡市国際交流協会

派遣者：菊池 哲佳

4）市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会への協力

「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会」に協力した。実行委員会に菊池、松尾が企画委員として参加し、企画及び当日運営に協力した。

名 称：市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2021

主 催：認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会
全国ボランティアコーディネーター研究集会 2021 東京実行委員会事務局
「越境」×「対話」×「共創」

テ ー マ：コーディネーターがオンラインで経験と知見を共有&習得する”学びのプラットフォーム”

日 時：2022 年 2 月 23 日（水祝）14：00-16：30

※2 月 26 日（土）10：00 までオンデマンド配信

2022 年 2 月 26 日（土）10：00-16：50

2022 年 2 月 27 日（日）9：30-14：30

場 所：オンライン

対 象：・地域や組織で人や団体のコーディネーションに携わる方
・市民の参加や協働の場をつくるコーディネーション実践に関わる方

定 員：・異なる分野とつながり、社会課題の解決をめざしたい方

参 加 者：180 人

Ⅲ. 組織体制

○ 役員

代 表 理 事：野山 広（国立国語研究所）

副代表理事：青山 亨（東京外国語大学）
阿部 裕（四谷ゆいクリニック）

山西 優二（早稲田大学）

理 事：伊東 祐郎（国際教養大学）
大久保 和夫（国際活動市民中心）
菊池 哲佳（仙台観光国際協会）＊事務局長
中村 亮（弁護士）

新居 みどり（国際活動市民中心）＊事務局次長

奈良 雅美（アジア女性自立プロジェクト）

山浦 育子（荒川区文化交流推進課（荒川区国際交流協会））

監 事 ： 栗木 梨衣（名古屋外国語大学大学院（博士課程））

関 聡介（弁護士）

○ 運営委員会・事務局

運営委員会 菊池 哲佳（仙台観光国際協会）＊事務局長

高柳 香代（多文化共生ネット・九州）

長尾 晴香（Viva おかざき！！）

新居 みどり（国際活動市民中心）＊事務局次長

松尾 慎（東京女子大学）

松岡 真理恵（浜松国際交流協会）

萬浪 絵理（千葉市国際交流協会委嘱日本語教育コーディネーター）